



# 受講しておわりにしない 認知症サポーター養成講座の工夫

京都府・綾部市

社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会

事務局長 山下宣和

# 自治体基礎情報

人口	34,690人	65歳以上人口	<b>12,569人</b>
高齢化率	36.2%	第6期介護保険費	6,202円
要介護認定者数	2,700人	要介護認定率	21.7%
日常生活圏域数	3圏域	包括数	直営：1 委託：3

認知症地域支援推進員数：2名（うち直営：1名、委託：1名）

地域の特徴：綾部市は、京都府の中央北寄りに位置する田園都市。美しい自然環境や豊かな里山・田園と農村の暮らし、平和と歴史・文化に彩られた市街地、ものづくりを中心とする多様な産業の集積、そして京阪神地域と日本海地域をつなぐ交通の要衝地であることなど、地方小都市ながらさまざまな機能や特性がバランスよく備わっています。

また、強い郷土愛や高い文化度、温厚で粘り強い市民性、加えて「郡是」の創業や「大本」の開教、日本初の世界連邦都市宣言等に見られる進取の気質、営々と受け継がれてきた地域の伝統行事など、多くの有形無形の歴史的・文化的資産を有しています。

# 第6期介護保険事業計画における 認知症施策の全体像

**基本理念** 支えあい安心して暮らせるまちづくり～地域包括ケアの推進～

平成 37 年を見据えた本市が目指すべき「まち」のすかた

- ◇ いつまでも健康でいきいきと暮らせるまち
- ◇ ふれあい豊かな支え合いの中で安心して暮らせるまち
- ◇ 個人の尊厳が守られながら住み慣れた地域で継続して暮らせるまち

〈計画推進にあたっての視点〉

高齢者の尊厳の保  
持

利用者の視点に立っ  
たサービス提供

保健・福祉・介護・  
医療サービスを一体  
的に提供する地域包  
括ケアシステムの実  
現

推進員が関わっている  
事業・取組み（赤字部分）

## 重点課題

1. 地域での包括的な支援のための仕組みづくり

4. 認知症支援対策の強化

2. 介護予防と健康づくりの推進

5. 高齢者の個人の尊厳の保持と権利擁護の推進

3. 生きがいづくり・社会参加の推進

6. 介護サービスの提供体制の充実と質の向上

(1)認知症の早期発見・早期対応の体制の充実 (2)認知症支援体制の強化 (3)認知症に関する知識の普及啓発の充実

# 学びを実践につなげるステップアップ講座

講師：キャラバン  
メイト  
内容：標準教材  
時間：60分

講師：社協職員  
内容：社協オリジ  
ナル教材  
時間：30～60分

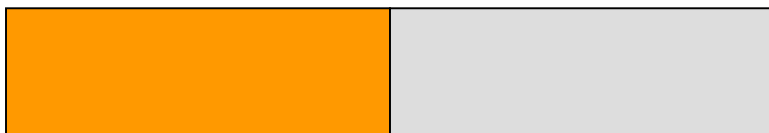
講師：専門職等  
内容：対人援助、社会資源、事  
例検討など  
時間：20時間



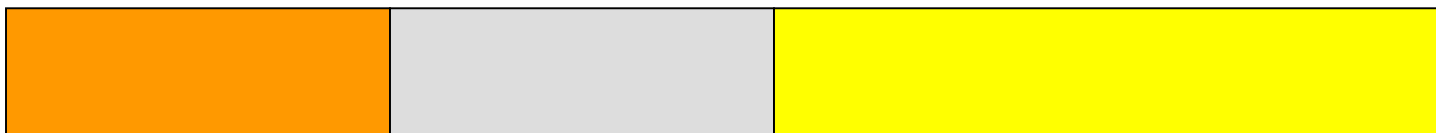
認知症サ  
ポーター



シルバー  
サポー  
ター



ゴールド  
サポー  
ター  
(生活・介護支援サポーター)



第2次綾部市地域福祉活動計画で位置づけ

# きっかけ、課題意識

- せっかく受講していただいた人に、オレンジリングを渡すだけでいいのか？
- 認知症の人や家族の理解は必要だが、生きづらさを抱えている人は認知症の人だけでない！
- 受講をきっかけに地域づくりへの関心が芽生え、きっかけがあれば何かしたいという人がいるはず！？
- 地域福祉活動計画で描く地域像（ふだんのくらしをしあわせに、おたがいさんのまち綾部）につなげたい！

## <目指したもの>

- 住民の意識を高めたい
- 住民の参加意欲を引き出したい
- キャラバンメイトなど関係者との協働体制を築きたい

# 取組みの流れ

ステップ

1

- **自組織内** での課題と目標、方針の共有
- **キャラバンメイト** との意見交換、アイデアフラッシュ



## 〈主な取り組み〉

- キャラバンメイト連絡会の開催による意識付け、活動支援グッズ
- 受講カードによる登録
- ハッピーカードによる受講者の助け合いエピソードの把握
- 受講者アンケートによる講習会の振り返り

- シルバーサポート店（事業所）による見守り支援の拡大
- シルバーサポーターの養成による包括的な支えあいの意識付け
- ニュースレターの発行による情報提供
- フォローアップ研修の開催による継続した意識づけと交流

# 取組みの流れ

## ステップ 2

- 実践を振り返り、**計画策定**（課題と目標、方針の共有）
- サポーターを含む関係者** で意見交換、**アイデアフラッシュ**



### 〈主な取り組み〉

- キャラバンメイト連絡会の開催による好事例の共有
- シルバーサポート店（事業所）の見える化の推進（マップ）
- ゴールドサポーター（通称Gサポ）の養成による担い手拡大

- ゴールドサポーターの相談等によるはじめの一歩支援
- ゴールドサポーターと協働による新たないばしょづくり
- ニュースレター（認知症・シルバー向けとGサポ向け）の発行
- フォローアップ研修の開催による継続した意識付けと交流

# 工夫・心がけたこと

断らない  
お呼びがあれば  
どこへでも

本人や  
家族の言葉を  
ありのまま

つなげよう  
わたしの町の  
宝もの

住民と  
ともに学んで  
歩んでく



# サポーターの実践が広がっています



傾聴ボランティアがお話し相手に訪問



初期認知症カフェでのシーン



介護者のホッとできる場所を



一緒に野菜づくり

# 今後の取組み(予定)や さらに強化したい点

- 認知症の人と家族の「いばしょ」と「出番」づくり
- 地縁組織とサポーターとの連携強化
- サポーターと専門職との連携強化…



課題は山積みですが、認知症の人本人や家族の視点を軸に、基本のPDCAサイクルを仲間と回すことを大切にしていきたいと考えます。

全国の推進員さんへのメッセージ

**ひとりで見る夢は夢でしかない。しかし、誰かと見る夢は現実だ。**  
(オノ・ヨーコ)